

2024 年度 J F グループ 役職員研修 (第 18 回)

販 売 事 業 コ ー ス 募 集 要 項

《 テ ー マ 》

水産物地域流通システムの再考
～地域市場を如何にして創出するか～

1. 開 催 日 2024 年 9 月 4 日 (水) ～5 日 (木)

2. 場 所

○講義 東京海洋大学 品川キャンパス
楽水会館 1 階 大会議室 (鈴木善幸記念ホール)
〒108-847 東京都港区港南 4-5-7

○視察 ・ 三浦市三崎水産物地方卸売市場
〒238-0243 神奈川県三浦市三崎 5 丁目 245- 7
・ 日本さかな専門学校
〒238-0243 神奈川県三浦市三崎 5 丁目 255-10

3. 申込締切 2024 年 8 月 20 日 (火)

4. 定 員 40 名

全国漁業協同組合学校

〒277-0854 千葉県柏市豊町 1 - 4 - 5
TEL. 04-7144-8125、FAX. 04-7145-5003

テーマ	<p style="text-align: center;">水産物地域流通システムの再考 ～地域市場を如何にして創出するか～</p>
ねらい	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が後退し、社会経済活動が回復の兆しを見せている。抑え込まれていた食やレジャーへの希求が具体化されようとしており、円安が続いていることもあって、国内の様々な地域に外国人観光客が押し寄せている。ただその一方、地方の人口減少や高齢化が進んでおり、店舗や交通手段の減少が購買行動の質を悪化させ、買い物難民の存在も指摘されている。また、大消費地への水産物出荷においては、2024年問題や燃料費の上昇が物流条件に影響を与えている。</p> <p>こういった状況から導かれるのは、地域市場の可能性について改めて検証することに意義があるものと考えられる。2023年度における販売事業コースのテーマでもあった海業の推進においても、地域市場の創出が重要であることは言うまでもない。具体的には、地域住民と観光客で形成される地域市場におけるニーズにいかに応えるか、あるいは地域市場をいかに創出するか、ということを検討する必要がある。</p> <p>そこで、今年度の販売事業コースでは、地域市場の可能性とそれを最大限まで具現化するための地域流通システムについて考えることと致したい。地域の水産物を活用した外食店や直売所、観光施設、ご当地グルメの事例、また、移動販売によって地域の買い物ニーズに対応した事例などについて、実際に活動に取り組まれている方々にご紹介いただく。さらに、参加者のみなさまとの議論を通じて、地域流通システムと地域市場の未来について考えていきたい。</p> <p>みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。</p>
日時・場所	<p>2024年9月 4日(水)～5日(木)</p> <p>○講義 東京海洋大学 楽水会館 1階大会議室(鈴木善幸記念ホール) 〒108-847 東京都港区港南4-5-7</p> <p>○視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市三崎水産物地方卸売市場 〒238-0243 神奈川県三浦市三崎5丁目245-7 ・日本さかな専門学校 〒238-0243 神奈川県三浦市三崎 5 丁目255-10
研修費	<p>講義・視察(二日間参加):45,000円 (JF会員外 50,000円)</p> <p>情報交換会会費 : 5,000円 (JF会員外 5,000円)</p>
締切日	<p>2024年 8月20日(火)17時まで(先着順)</p>
対象者・定員	<p>漁協・漁連・信漁連等の役職員等、販売実務者、流通企業他 (定員)40名</p>
研修の流れ	<p>○第1講(解題) 婁小波教授による解題:「水産物地域流通システムの再考」(～地域市場を如何にして創出するか～)</p> <p>○講演等 今回の販売事業コースは、「地域市場の可能性とそれを最大限まで具現化するための地域流通システムのあり方」について、取組事例の紹介やこれら事例の特徴を捉え振り返りを行いながら、理解を深める場としている。ついでに最初(第2講)に、青森県深浦町(観光課)より「深浦マグロステーキ井の誕生と成長」(仮題)について報告、第3講として田尻漁業協同組合(大阪府)より「観光漁業で浜の楽しみを提供・多彩なサービスで所得向上」(仮題)について、第4講として 日間賀島漁業協同組合より「日間賀島ブランドの取組み」(仮題)について、第5講として坊勢漁業協同組合(兵庫県)より「離島の漁協における直売所等の開設や漁業見学の取組み」(仮題)について、第6講として ㈱としく丸より「買い物難民を救え」(仮題)について報告をしていただく予定としている。</p> <p>地域の水産物を活用した外食店や直売所、観光施設、ご当地グルメの事例、また、移動販売によって地域の買い物ニーズに対応した事例などについて、実際に活動に取り組まれている方々にご紹介いただいた後、講演者及び参加者の皆様方々との意見交換を通じて、地域流通システムと地域市場の未来について理解を深める。</p> <p>○視察 三浦市三崎水産物地方卸売市場 日本さかな専門学校他</p> <p>○情報交換会 初日に夕食懇親会を開催し交流を深め、名刺交換や情報交換を行う。</p>

演題、講師プロフィール等

講師等	内 容
<p style="text-align: center;">妻 小波氏</p> <p>(コーディネーター) 第1講(解題)・総括</p>	<p>(テーマ)水産物地域流通システムの再考 ～地域市場を如何にして創出するか～ 東京海洋大学 学術研究院海洋政策文化学部門教授 農学博士 東京海洋大学、学術研究院海洋文化政策学部門教授。1962年中国生まれ。1992年京都大学農学研究科農林経済学専攻修了。農学博士。専門は水産経済学、近年ではとくに水産物ブランド化や漁村地域経済活性化について研究。著書「水産物産地流通の経済学」「水産物ブランド化戦略の理論と実践」「海業の時代—漁村活性化に向けた地域の挑戦—」など多数。</p>
<p>中原 尚知氏 (コーディネーター・補佐) 全体意見交換</p>	<p>東京海洋大学 学術研究院 海洋政策文化学部門 教授 1974年10月 生まれ 2002年10月 鹿児島大学大学院水産学研究科・研究生 2003年10月 近畿大学水産研究所・COE博士研究員 2008年10月 近畿大学水産研究所・研究員 2009年 6月 東京海洋大学海洋科学部海洋政策文化学科・准教授 2022年 4月 東京海洋大学海洋科学部海洋政策文化学科・教授</p>
<p>鈴木 マグロー氏</p> <p style="text-align: center;">第2講</p>	<p>(テーマ)「深浦マグロステーキ丼の誕生と成長」(仮題) ～新・ご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」をめぐる冒険～ 青森県深浦町観光課 課長補佐</p>
<p>上野 公敬氏</p> <p style="text-align: center;">第3講</p>	<p>(テーマ)「観光漁業で浜の楽しみを提供・多彩なサービスで所得向上」(仮題) ～様々な形態による魚の販売と魚食の普及活動～ 田尻漁業協同組合(大阪府) 参事</p>
<p>坂口 寿和氏</p> <p style="text-align: center;">第4講</p>	<p>(テーマ)「日間賀島ブランドの取組み」(仮題) ～日間賀島の海業を支える域内利益循環システム～ 日間賀島漁業協同組合(愛知県) 参事</p>
<p>上西 典幸氏</p> <p style="text-align: center;">第5講</p>	<p>(テーマ)「離島の漁協における直売所等の開設や漁業見学の取組み」(仮題) ～「JFぼうぜ・姫路まえどれ市場」を起点とした発信・播磨灘のええとこ巡り等～ 坊勢漁業協同組合(兵庫県) 参事</p>
<p>住友 達也氏</p> <p style="text-align: center;">第6講</p>	<p>(テーマ)「買い物難民を救え」(仮題) ～移動スーパーとくし丸の取組み～ 株式会社 とくし丸 取締役ファウンダー・新規事業担当</p>

＜ 日 程 : 第1日 ＞ 9月4日(水)

	時 間	内 容
初 日 開 講	10:30	開講挨拶、オリエンテーション ※10時より、受付開始(東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館1階) 10時25分までに入场願います。
第1講 (解題)	10:40 ～11:10	(テーマ) 水産物地域流通システムの再考 ～地域市場を如何にして創出するか～ 婁 小波氏 (東京海洋大学 教授)
第2講	11:20 ～12:10	(テーマ)「深浦マグロステーキ井の誕生と成長」(仮題) ～新・ご当地グルメ「深浦マグロステーキ井」をめぐる冒険～ 青森県深浦町観光課 課長補佐 鈴木 マグロー氏
	12:10 ～13:00	昼 食
第3講	13:00 ～13:50	(テーマ)「観光漁業で浜の楽しみを提供・多彩なサービスで所得向上」(仮題) ～様々な形態による魚の販売と魚食の普及活動～ 田尻漁業協同組合(大阪府) 参事 上野 公敬氏
第4講	14:00 ～14:50	(テーマ)「日間賀島ブランドの取組み」(仮題) ～日間賀島の海業を支える域内利益循環システム～ 日間賀島漁業協同組合(愛知県) 参事 坂口 寿和氏
第5講	15:00 ～15:50	(テーマ)「離島の漁協における直売所等の開設や漁業見学の取組み」(仮題) ～「JFぼうぜ・姫路まえどれ市場」を起点とした発信・播磨灘のええとこ巡り等～ 坊勢漁業協同組合(兵庫県) 参事 上西 典幸氏
第6講	16:00 ～16:50	(テーマ)「買い物難民を救え」(仮題) ～移動スーパーとくし丸の取組み～ 株式会社 とくし丸 取締役ファウンダー・新規事業担当 住友 達也氏
全体 意見 交換	17:00 ～ 17:50	中原 尚知氏 (東京海洋大学 教授) 事例報告振り返り ・質疑・応答(事例報告内容) ・特徴 ・取組効果、課題 全体(質疑・応答)
連 絡	17:50～18:00	事務連絡
移 動	18:00～	情報交換会 会場へ移動
	18:30開始～	情報交換会(懇親会)※品川駅港南口周辺(予定)

(注)上記の内容や時間割等については、調整中の内容を含むことをお含み置き願います。

＜ 日 程 : 第2日 ＞ 9月5日(木)

	時 間	内 容
二日目 開 講	8:30	オリエンテーション ※8時より、開場(東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館1階) 8時25分までに入場願います。
第7講	8:40 ～9:10	総括 婁 小波氏 (東京海洋大学 教授)
	9:30～	東京海洋大学品川キャンパス 発～ (大型貸切りバス移動)
	11:30 ～12:50	みうら漁協女性部レストラン“はまゆう” 着 (昼食) みうら漁協女性部レストラン“はまゆう” ※昼食後、自由時間 →12時50分までに、各自、三浦市三崎水産物地方卸売市場(7階会議室)へ移動(“はまゆう”より、徒歩約10分)
講義	13:00 ～14:00	三浦市三崎水産物地方卸売市場について(講義) 三浦市職員
視察	14:00 ～14:40	高度衛生管理型魚市場視察 三浦市職員
	14:40～14:50	(大型貸切りバス移動:近隣の日本さかな専門学校へ移動)
講義	15:00 ～15:50	学校法人 水野学園 日本さかな専門学校 日本さかな専門学校 職員
	16:00～	日本さかな専門学校 発～ (大型貸切りバス移動)
	17:30	羽田空港 着
	18:15	東京駅 着

(注) 上記の内容及び行程等については、調整中の内容を含むことをお含み置き願います。

視察先の概要

○みうら漁協女性部レストラン“はまゆう(昼食会場) 11時30分～

- ・三崎港にあるログハウスが目印の食堂。みさき海業センター内の海鮮レストラン。みうら漁協女性部連絡協議会が運営し「漁師のおかみさんの店」として知られるお店。
- ・定番メニュー：まぐろ刺身定食、フライ御膳（まぐろ刺身、かじきフライ）等

○みうら・みさき 海の駅(うらりマルシェ) (昼休み休憩) 昼食後～12時50分

- ・『獲れたて三浦野菜と三崎マグロの産直センター』:「うらり」は、1階にある「まぐろ館」と2階にある「やさい館」を合わせて、「うらりマルシェ」。
- ・株式会社三浦海業公社が運営
- ・「うらり」は2001年に旧三崎魚市場の跡地にオープンした三崎フィッシャリーナ・ウオーフの愛称。「海(う)を楽(ら)しむ里(り)、また、魚(う)を楽(ら)しむ里(り)」という意味が込められている。

○三浦市三崎水産物地方卸売市場 (13時00分～14時50分)

- ・公設市場：開設者は三浦市。
- ・三浦市三崎水産物地方卸売市場（以下、三崎魚市場）：日本有数のマグロの漁港で、三崎魚市場では巨大なマグロが並ぶ迫力満点の入札風景を見学できる。特に冷凍マグロ類の取引が有名で、1日に400本から1000本程度の取引がされている。
- ・取引は大きく2つに分けて沿岸物（イカ、サバなど）と冷凍マグロがある。
このうち、冷凍マグロは、平成30年4月24日から「三浦市低温卸売市場」（平成30年3月竣工）に取引場所を移し、取引を開始している。また、平成31年3月末に高度衛生管理化された沿岸卸売市場及び製氷工場が竣工し、取引を開始している。

○日本さかな専門学校 (15時00分～15時50分)

- ・日本で初めての「さかな」を学ぶ専門学校「日本さかな専門学校」が、2023年4月に神奈川県三浦市三崎エリアに開校。
- ・学校法人水野学園が運営
- ・3年制の「海洋生物学科」、4年制の「海洋生物研究学科」が設置され、「漁業」「調理・食品学」「観光・レジャー」「環境」の4つの領域から総合的にさかなについて学ぶことができる。

《連絡事項》

会 場	<p>1. 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館1階 大会議室(鈴木善幸記念ホール) 〒108-847 東京都港区港南4-5-7 電話 03-3474-4523</p> <p>2. 交 通 JR線・京浜急行線 品川駅 港南口(東口)から徒歩 約10分</p>
宿 泊	<p>・宿泊は各自で手配願います。</p> <p>・東京海洋大学(品川キャンパス)近隣のホテルをご紹介します。(参考例示)</p> <p>○東横イン品川駅高輪口 (TEL 03-3280-1045) 〒108-0074 東京都港区高輪4-23-2</p> <p>○東横INN品川港南口天王洲アイル (TEL 03-5715-1045) 〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-35</p> <p>○フレックスティイン品川 (TEL03-3458-4281) 〒140-0001 東京都品川区北品川1-22-19</p>
研修費内訳	<p>講義(2日間)及び視察(2日目)ともに、参加した場合(参考例示)</p> <p>1. 講義・視察 講義2日間・視察貸切りバス代等を含む 講義等45,000円(JF会員外 50,000円)、 情報交換会会費5,000円 (内訳) 9月4日(水) 講義等、昼食、情報交換会会費 9月5日(木) 講義等、昼食、視察バス代</p> <p>2. 研修費に含まれないもの 宿泊費等</p>
その他	<p>1. 健康保険証と常備薬は、必ずお持ちください。</p> <p>2. 講義中は、楽な服装で結構です。</p> <p>3. 講師、視察時の事情等により、内容が変更になる場合があります。</p> <p>4. 視察参加者は、国内旅行総合保険を付保します。</p> <p>5. 請求書は、申込者の電子メール・アドレス宛てメール送付致します(請求書宛名は、所属団体)。 (原則、請求書は、電子メールによる発行・送付とさせていただきます。)</p> <p>6. 初日9月4日(水) :受付開始は午前10時、研修開始(開講)は午前10時30分となります。 (午前10時25分までに、会場にお集り下さい。)</p> <p>7. 受付の際に名刺のご提出をお願いいたします。</p> <p>8. 申込後のキャンセルは、キャンセル料が発生するケースもありますので、お含み置き願います。</p>

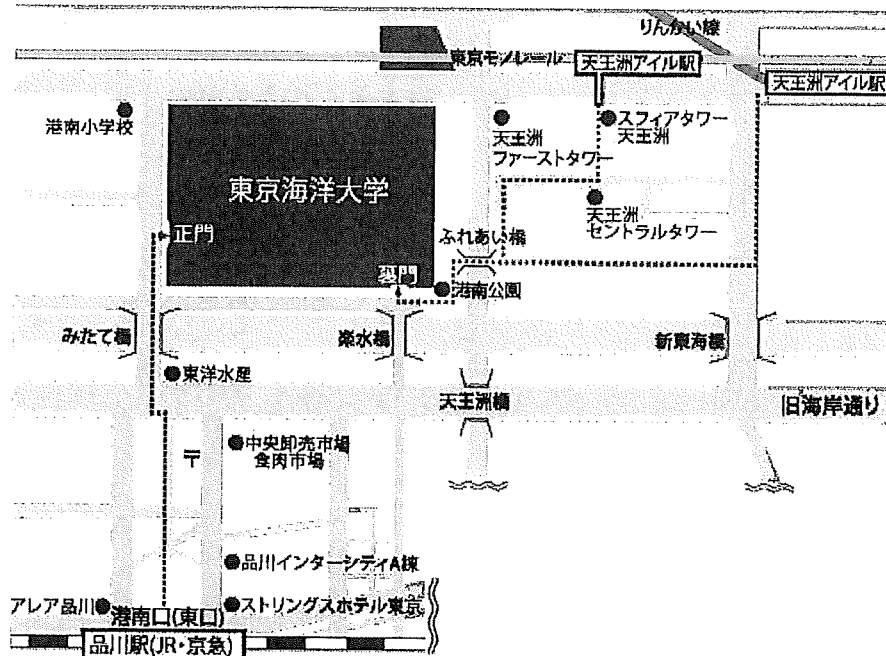
アクセス

本学へ車両で入構される方はこちらをご覧ください。

品川キャンパス

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

TEL:03-5463-0400(代表)



交通手段

JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分

東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分

りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分

東京海洋大学キャンパスマップ

■品川キャンパス



品川駅 徒歩(↓)

① 守衛所	⑬ 7号館 / 産学・地域連携推進機構	⑮ 附属図書館
② 保健管理センター	⑭ 放射性同位元素利用施設	⑯ 大学会館
③ 職員集会所	⑰ 水理模型実験棟	⑰ 講義棟
④ 本部管理棟	⑱ 廃水処理施設	⑲ 5号館
⑤ 中部講堂	⑲ 8号館	⑲ 武道館
⑥ 回流水槽実験棟	⑲ 9号館	⑳ 体育管理・合宿施設
⑦ 1号館	⑳ 学生寮 (朋鷹寮)	㉑ 課外活動施設
⑧ 2号館	㉒ 国際交流会館	㉓ 特殊実験棟 / 情報処理センター
⑨ 飼育実験室	㉓ 白鷹館	㉓ 体育館
⑩ 3号館	㉔ 楽水会館	㉔ 漁業機械学実験実習棟
⑪ 4号館	㉕ マリンサイエンスミュージアム	㉕ 艇庫
⑫ 6号館	㉖ 鯨ギャラリー	㉖ 課外活動施設